

資料2

基本計画策定の背景と目的

1.1 基本計画策定の背景と目的

- 本市においてスポーツ活動の中心的役割を果たす小樽市総合体育館は、日々、多くの市民が利用する施設であるとともに、災害時には多くの人員を収容する指定避難所であるにもかかわらず、耐震性能が旧基準のままであり、バリアフリー化も不十分です。また、旧室内水泳プールが平成19(2007)年6月に廃止されて以降、市内中心部に市営プールが無い状態が続いています。
- こうした中、小樽市教育委員会では、令和4年(2022)年2月に「小樽市総合体育館長寿命化計画」を策定、同計画では、現総合体育館は、旧緑小学校跡地において、プール室を併設して再整備を行うこととし、整備に向けた基本的な考え方を示しました。
- 令和4年8月には、学識経験者やスポーツ関係団体、市民公募委員などから構成される「小樽市新総合体育館整備検討委員会」を設置し、整備に向けた検討を本格的に開始し、令和5(2023)年2月には、新総合体育館整備の基本理念・基本方針などを定めた「小樽市新総合体育館基本構想」を策定したところです。
- 本基本計画では、先に策定した「小樽市新総合体育館基本構想」を踏まえ、新総合体育館の配置・平面・構造・設備計画や事業手法などを取りまとめることを目的とします。

1.2 基本計画の位置づけ

- 本計画は、国や道の関連施策、本市の上位計画・関連計画と整合性を図り策定した「小樽市新総合体育館基本構想」に基づいて策定します。

